

阿智村教育委員会 令和4年12月定例会会議録

○ 会議日時 令和4年12月22日(木) 午後1時30分

○ 会議場所 阿智村中央公民館会議室

○ 出席者 教育長：黒柳紀春 教育長職務代理：原 勝人
委 員：熊谷 歩 委員：熊谷 均 委員：塚田宏子

【事務局】

教育次長：川上 悟（全体進行） 保育園総園長：原 満

子育て支援室長：島岡佐喜子 公民館兼社会教育係長：井原祐次

学校教育係：沖村信繁 学校教育専門主事：原 康倫

英語教育専門員：両角明浩

（欠席）学校教育専門主事：川上清宏 学校教育専門主事：佐々木豊

1 開会

2 教育長あいさつ

- ・12月定例議会一般質問より
発達障害のある児童生徒について（信毎の取材について）
- ・阿智第3小学校通級指導教室の本務校化について

3 議事事項

(1) 阿智村教育委員会傍聴人規則の一部改正について（教育次長説明）

（原 勝人委員）

村のそれぞれのところにならい準じて進めるということによろしいか。

（教育次長）

他には「精神に異常があると認められる者」の記載はないと思われる。

（熊谷 均委員）

今までに傍聴人がいたことはあるのか。

（教育長）

在任7年目になるが、過去に一度ありました。

- ・承認

4 協議事項

(1) 阿智中学校における休日部活動の地域移行に関わる推進計画について

（公民館兼社会教育係長説明）

（原 勝人委員）

スポーツ庁の見解があまり出ていないが、予算の問題と急な改革に意見が寄せられた。学校職員の勤務の問題であったり、中体連の参加についてもチャレンジゆう A c h i で参加することが可能なのか、いろいろな課題がある。阿智中クラブの発足に当たっても1年間検討した経過があり、今回も協議が必要である。予算的なものと部活動のことであり検討には時間がかかること、参加費がかかるが理解が得られるか課題は多い。専任のコーディネーターの配置も必要になってくるのではないか。サッカー部も今年はぎりぎり大会に参加できた状況であり存続できるか、生徒の人数が減っていくとクラブ数も減少していくんだらうなど。保護者にも支援いただいているが変わっていくからこそ運営主体は保護者会が良いのではないか。

(熊谷 均委員)

生徒が減っていってしまうのは致し方ないところであるが、休日の教員の負担を減らすということは理解できるんですが、休日に他の指導者があたった時の指導の方向性とか人によって表現だとか違っても正しいことを教えていると思うんですが、生徒が理解してついて行けるのかが不安で難しい面もあるのかなと思う。

(原 勝人委員)

懸念されるのが社会人指導者がやり過ぎてしまうこと。保護者の指導方針にそって指導者を選定していくのが大事である。教師がやりたいこともありコントロールするためにもコーディネーターが必要である。

(教育長)

委員の皆さんには資料に目を通しておいていただきたい。他の市町村や国の動向であるとか状況を見ながら、今後チャレンジゆう A c h i と連携して協議してまいりたい。

(2) 令和5年度予算編成に向けて

- ・教育次長説明
- ・保育園総園長説明
- ・公民館兼社会教育係長説明

(原 勝人委員)

社会教育施設と学校と一体的に空調の整備を進めていただくとありがたい。中学校体育館の社会開放室もWIFIの環境が必要になってきている。

(塚田宏子委員)

オムツを持ち帰らないようになるのは大変ありがたい。

(熊谷 歩委員)

オムツのサブスクについては回数とかどのような制度なのか。

(保育園総園長)

現在、実証実験で行っているのは月2,300円で紙おむつとおしりふきは使い放題である。2,300円は保護者負担になるが、保護者に申し込んでいただいて発注は保育園がする。

(3) その他

5 報告・連絡事項

(1) 各係より

- ①阿智村後藤育英会設置条例について（総務係）
- ②阿智村奨学金貸与条例及び施行規則について（総務係）
- ③阿智村中学校等入学祝い品支給事業実施要綱について（総務係）
- ④夢みらいキャリア・メッセについて（11/29 原学校教育専門主事）
- ⑤ふるさと学習発表会について（1/26 原学校教育専門主事）
- ⑥村内教職員研修会について（12/19 原学校教育専門主事）
- ⑦教職員の I C T活用に関わる状況調査のまとめと考察、他（教育次長）

(2) 1 月定例会開催日 1 月 27 日（金）午後 1 時 30 分より

(3) その他

6 閉会

（閉会 午後 3 時 15 分）

教育長・教育委員 署名／捺印